



# Sitecore CMS 6

# メンバーシップ プロバイダー

Sitecore と認証システムの統合に関する開発者ガイド

## 目次

Chapter 1	イントロダクション .....	4
Chapter 2	ASP.NET メンバーシップ プロバイダーの実装 .....	5
2.1	セキュリティ プロバイダーの概要 .....	6
2.2	メンバーシップ プロバイダーの概要 .....	7
2.3	最小限の読み取り専用メンバーシップ プロバイダーの概要 .....	8
2.3.1	GetUser() メソッド .....	8
2.3.2	ValidateUser() メソッド .....	9
2.4	メンバーシップ プロバイダーのメソッドの読み取り/書き込み .....	10
2.4.1	CreateUser() メソッド .....	10
	Sitecore.Security.Accounts.User.Profile.IsAdministrator プロパティ .....	10
2.4.2	Initialize() メソッド .....	11
2.4.3	GetAllUsers() メソッド .....	11
2.4.4	ChangePasswordQuestionAndAnswer() メソッド .....	11
2.4.5	GetPassword() メソッド .....	12
2.4.6	ChangePassword() メソッド .....	12
2.4.7	ResetPassword() メソッド .....	12
2.4.8	UpdateUser() メソッド .....	12
2.4.9	UnlockUser() メソッド .....	13
2.4.10	GetUser() メソッド .....	13
2.4.11	GetUserNameByEmail() メソッド .....	13
2.4.12	DeleteUser() メソッド .....	13
2.4.13	GetNumberOfUsersOnline() メソッド .....	13
2.4.14	FindUsersByEmail() メソッド .....	14
2.5	オプションのメンバーシップ プロバイダー プロパティ .....	15
2.5.1	ApplicationName プロパティ .....	15
2.5.2	EnablePasswordRetrieval プロパティ .....	15
2.5.3	EnablePasswordReset プロパティ .....	15
2.5.4	RequiresQuestionAndAnswer プロパティ .....	15
2.5.5	MaxInvalidPasswordAttempts プロパティ .....	16
2.5.6	PasswordAttemptWindow プロパティ .....	16
2.5.7	RequiresUniqueEmail プロパティ .....	16
2.5.8	PasswordFormat プロパティ .....	16
2.5.9	MinRequiredPasswordLength プロパティ .....	17
2.5.10	MinRequiredNonAlphanumericCharacters プロパティ .....	17
2.5.11	PasswordStrengthRegularExpression プロパティ .....	17

2.6	メンバーシップ プロバイダーの設定 .....	18
2.6.1	すべてのドメインに同じメンバーシップ プロバイダーを使用する方法 .....	18
2.6.2	異なるドメインに異なるメンバーシップ プロバイダーを使用する方法 .....	19

# Chapter 1

## イントロダクション

この文書では、ASP.NET のメンバーシップ プロバイダーを使用して、認証システムを Sitecore に統合する方法について説明します。<sup>1</sup> 開発者はこの手順に従い、Sitecore 以外の ID 管理ソリューションでユーザーを認証する 1 つまたは複数のプロバイダーを使用してデフォルトの Sitecore メンバーシップ プロバイダーを置き換えたり増強したりすることが可能です。

この文書には次の章があります：

- Chapter 1 – イントロダクション
- Chapter 2 – ASP.NET メンバーシップ プロバイダーの実装

---

<sup>1</sup> ASP.NET メンバーシップ プロバイダーの詳細については、[http://sdn.sitecore.net/Articles/Security/Low\\_level\\_Sitecore\\_Security\\_and\\_Custom\\_Providers.aspx](http://sdn.sitecore.net/Articles/Security/Low_level_Sitecore_Security_and_Custom_Providers.aspx) と <http://msdn.microsoft.com/en-us/library/tw292whz.aspx> を参照してください。Sitecore のセキュリティについては、<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20Reference.aspx> から『セキュリティ リファレンス』を参照してください。関連 API の詳細については、<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20API%20Cookbook.aspx> から『セキュリティ API クックブック』を参照してください。

## Chapter 2

# ASP.NET メンバーシップ プロバイダーの実装

この章では、ASP.NET メンバーシップ プロバイダーの実装方法について説明します。

この章には次のセクションがあります：

- セキュリティ プロバイダーの概要
- メンバーシップ プロバイダーの概要
- 最小限の読み取り専用メンバーシップ プロバイダーの概要
- メンバーシップ プロバイダーのメソッドの読み取り/書き込み
- オプションのメンバーシップ プロバイダー プロパティ
- メンバーシップ プロバイダーの設定

## 2.1 セキュリティ プロバイダーの概要

プロバイダーは、似たような機能を提供するシステムの実装の詳細を抽象化します。セキュリティ プロバイダーには、次の 3 種類があります：

- **メンバーシップ プロバイダー**：ユーザー認証を抽象化します。
- **ロール プロバイダー**：グループまたはロールのメンバーシップを抽象化します。
- **プロフィール プロバイダー**：ユーザー プロファイルを抽象化します。

認証に使用されるシステムでロールとプロフィールも管理することができますが、メンバーシップ プロバイダーではシステムのその機能を公開することができません。ロール プロバイダーは、ユーザーとロール間の関係を公開します。ロール プロバイダーを実装すると、ロール サービスを公開できるほか、外部システムからのユーザー/ロール関係やロール/ロール関係のデータによってデフォルトのロール プロバイダーを更新することができます。プロフィール プロバイダーを実装すると、カスタム プロファイル属性を公開できるほか、外部システムからのプロフィール データによってデフォルトのプロファイル プロバイダーを更新することができます。<sup>2</sup>

### メモ

メンバーシップ プロバイダー、ロール プロバイダー、およびプロフィール プロバイダーは、セキュリティ プロバイダーです。ロール プロバイダーはメンバーシップ プロバイダーではありません。メンバーシップ プロバイダーはユーザーを認証します。ロール プロバイダーは、ユーザーとロールをロールに関連付けます。

---

<sup>2</sup> カスタム プロファイル プロパティの詳細については、<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20API%20Cookbook.aspx> を参照してください。

## 2.2 メンバーシップ プロバイダーの概要

メンバーシップ プロバイダーは、パスワード検証などのユーザー認証サービスを抽象化します。メンバーシップ プロバイダーは、プロバイダーによって抽象化されるレポジトリでユーザー管理のメソッドを実装します。これらのメソッドには、ユーザーの作成、更新、削除や、ユーザー資格情報の検証、オプションで資格情報の復元またはリセットなどがあります。

認証システムはユーザー名、電子メール アドレスおよびパスワードなどの基本的なユーザー プロパティを、通常は暗号化してストアします。ロール プロバイダーとプロファイル プロバイダーは、メンバーシップ プロバイダーを介してユーザー認証に関する追加の情報を公開します。+Sitecore デフォルトのメンバーシップ プロバイダー、ロール プロバイダー、およびプロファイル プロバイダーは、Core データベースにある適応後の ASP.NET メンバーシップ テーブルに情報をストアします。

### メモ

`web.config` で該当する `connectionStringName` 属性を更新すれば、別のデータベースを使用するように Sitecore セキュリティ プロバイダーを設定することができます。

Sitecore を使用して既存のシステムでユーザーを認証する場合は、「最小限の読み取り専用メンバーシップ プロバイダーの概要」のセクションで説明されているように、読み取り専用のメンバーシップ プロバイダーを実装します。ASP.NET メンバーシップ プロバイダー API と Sitecore ユーザー マネージャーを通じてユーザーを管理する場合は、「メンバーシップ プロバイダーのメソッドの読み取り/書き込み」のセクションで説明されているように、目的の操作のサポートに必要なメソッドを実装します。

### メモ

認証にサードパーティ ソフトウェアを使用する場合は、使用可能な ASP.NET メンバーシップ プロバイダーをベンダーが提供していることもあります。

## 2.3 最小限の読み取り専用メンバーシップ プロバイダーの概要

このセクションでは、読み取り専用の ASP.NET メンバーシップ プロバイダーを実装するときを上書きする必要がある最小限のメソッドについて説明します。

### 注意

1 つまたは複数のドメインに、匿名ユーザーなどの必須ユーザーが存在しない場合、Sitecore はメンバーシップ プロバイダーの `CreateUser()` メソッドを呼び出します。`CreateUser()` メソッドを上書きしない場合は、必須ユーザーを手動で作成する必要があります。必須ユーザーがすべて存在し、メンバーシップ プロバイダーを介してユーザーを作成しない場合には、`CreateUser()` メソッドを実装する必要はありません。`CreateUser()` メソッドの詳細については、「`CreateUser()` メソッド」のセクションを参照してください。

### メモ

アクセスされた場合、未実装のプロバイダー メソッドとプロパティはすべて、例外をスローする必要があります。次はその例です：

```
public override string GetUserNameByEmail(string email)
{
    throw new System.NotImplementedException();
}
```

### 2.3.1 GetUser() メソッド

`System.Web.Security.MembershipProvider.GetUser()` メソッドを上書きし、メンバーシップ プロバイダーを通じて `System.Web.Security.MembershipUser` オブジェクトを取得します。<sup>3</sup>

- **username** パラメーターはユーザー名を示します。これには、ドメイン名またはバックスラッシュ文字 ("\\") は含まれません。
- **userIsOnline** パラメーターは、ユーザーがオンラインかどうかを示します。この値を `GetUser()` メソッド内で使用すると、ユーザーによる前回のアクティビティの日時を示すレコードを更新することができます。

---

<sup>3</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.GetUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.getuser.aspx> を参照してください。

## 2.3.2 ValidateUser() メソッド

`System.Web.Security.MembershipProvider.ValidateUser()` メソッドを上書きし、ユーザーを認証するためのパスワードを検証します。<sup>4</sup>

- **username** パラメーターはユーザー名を示します。これには、ドメイン名およびバックスラッシュ文字が含まれます (domain\username)。
- **password** パラメーターは、ユーザーが入力を試行したパスワードを示します。

---

<sup>4</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.ValidateUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.validateuser.aspx> を参照してください。

## 2.4 メンバーシップ プロバイダーのメソッドの読み取り/書き込み

追加のメンバーシップ プロバイダー メソッドを実装すると、次のセクションで説明する機能をサポートすることができます。

### 2.4.1 CreateUser() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `CreateUser()` メソッドを上書きすると、メンバーシップ プロバイダーを通じて認証システムでユーザーを作成することができます。<sup>5</sup>

- **username** パラメーターには、新しいユーザーのユーザー名を指定します。ドメイン名およびバックスラッシュ文字を含めず (domain\username)。
- **password** パラメーターには、新しいユーザーのパスワードを平文で指定します。
- **email** パラメーターには、ユーザーの電子メール アドレスを指定します。
- **passwordQuestion** と **passwordAnswer** の各パラメーターには、パスワードをリセットするときに、ある程度ユーザーを検証するためのセキュリティ上の質問、またはセキュリティ上の質問の識別子と回答をそれぞれ指定します。
- **isApproved** パラメーターは True です。
- **providerUserKey** パラメーターは、メンバーシップ プロバイダーの識別子です。
- **status** パラメーターは、Sitecore がユーザーを作成できない場合に呼び出し側メソッドに情報を提供します。

### Sitecore.Security.Accounts.User.Profile.IsAdministrator プロパティ

`Sitecore.Security.Accounts.User.Profile.IsAdministrator` プロパティは、ユーザーが Sitecore 管理者かどうかを示します。メンバーシップ プロバイダーが CMS ユーザーを認証し、一部のユーザーが CMS 管理者であると確認できる場合は、メンバーシップ プロバイダーの `GetUser()` メソッドによって `Sitecore.Security.Accounts.User.Profile.IsAdministrator` プロパティが適切に設定されます。次はその例です:

```
string username = @"domain\username"; // TODO: set from external system
bool isAdmin = true; // TODO: set from external system
Sitecore.Security.Accounts.User sitecoreUser =
```

---

<sup>5</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.CreateUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.createuser.aspx> を参照してください。

```
Sitecore.Security.Accounts.User.FromName(username, true);

if (sitecoreUser.Profile.IsAdministrator != isAdmin)
{
    sitecoreUser.Profile.IsAdministrator = isAdmin;
    sitecoreUser.Profile.Save();
}
```

**注意**

Sitecore.Security.Accounts.User.Profile.IsAdministrator プロパティを設定する前に、System.Web.Security.Membership.MembershipUser が存在することを確認してください。

## 2.4.2 Initialize() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの Initialize() メソッドを上書きすると、メンバーシップ プロバイダーを初期化することができます。<sup>6</sup> web.config で定義されている initialize パイプラインの EnsureAnonymousUsers プロセッサのはたらきにより、ASP.NET がメンバーシップ プロバイダーの Initialize() メソッドを呼び出します。

## 2.4.3 GetAllUsers() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの GetAllUsers() メソッドを実装すると、ユーザーのグループを返すことができ、ユーザーのリスト全体を閲覧するユーザー インターフェースのサポートなどに利用することができます。<sup>7</sup>

## 2.4.4 ChangePasswordQuestionAndAnswer() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの ChangePasswordQuestionAndAnswer() メソッドを実装すると、指定されたユーザーに対して指定されたパスワードが有効な場合に、そのユーザーに関連付けられているセキュリティ上の質問と回答を更新します。<sup>8</sup>

---

<sup>6</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.Initialize() メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.configuration.provider.providerbase.initialize.aspx> を参照してください。

<sup>7</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.GetAllUsers() メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.getallusers.aspx> を参照してください。

<sup>8</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.ChangePasswordQuestionAndAnswer() メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.changepasswordquestionandanswer.aspx> を参照してください。

### 2.4.5 GetPassword() メソッド

メンバーシップ プロバイダーでパスワードの復元がサポートされている場合に、メンバーシップ プロバイダーの `GetPassword()` メソッドを実装すると、指定されたユーザーに関連付けられているセキュリティ上の質問に指定された回答が一致した場合には、そのユーザーのパスワードを返すことができます。<sup>9</sup>

### 2.4.6 ChangePassword() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `ChangePassword()` メソッドを実装すると、指定されたユーザーに関連付けられているパスワードに、指定された古いパスワードが一致した場合には、そのユーザーに関連付けられているパスワードを変更することができます。<sup>10</sup>

### 2.4.7 ResetPassword() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `ResetPassword()` メソッドを実装すると、指定されたユーザーに関連付けられているセキュリティ上の質問に対する回答に、指定された回答が一致した場合には、そのユーザーに関連付けられているパスワードをランダムなパスワードにリセットすることができます。<sup>11</sup>

### 2.4.8 UpdateUser() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `UpdateUser()` メソッドを実装すると、認証システムにおけるユーザー レコードを、`System.Web.Security.MembershipUser` で指定されたとおりに更新することができます。<sup>12</sup>

---

<sup>9</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.GetPassword()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.getpassword.aspx> を参照してください。

<sup>10</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.ChangePassword()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.changepassword.aspx> を参照してください。

<sup>11</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.ResetPassword()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.resetpassword.aspx> を参照してください。

<sup>12</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.UpdateUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.updateuser.aspx> を参照してください。

## 2.4.9 UnlockUser() メソッド

メンバーシップ プロバイダーで、無効なパスワードが一定の回数以上試行された後でユーザーをロックアウトする機能がサポートされている場合に、メンバーシップ プロバイダーの `UnlockUser()` メソッドを実装すると、指定されたユーザーのロックを解除することができます。<sup>13</sup>

## 2.4.10 GetUser() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `GetUser()` メソッドの追加シグネチャーを実装することができます。<sup>14</sup>

## 2.4.11 GetUserNameByEmail() メソッド

`GetUserNameByEmail()` メソッドを実装すると、電子メール アドレスに関連付けられているユーザー名を返すことができます。<sup>15</sup>

## 2.4.12 DeleteUser() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `DeleteUser()` メソッドを実装すると、プロバイダーを通じて、指定されたユーザーを認証システムから削除することができます。<sup>16</sup>

## 2.4.13 GetNumberOfUsersOnline() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `GetNumberOfUsersOnline()` メソッドを実装すると、現在オンラインのユーザーの数を返すことができます。<sup>17</sup>

---

<sup>13</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.UnlockUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.unlockuser.aspx> を参照してください。

<sup>14</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.GetUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.aspx> を参照してください。

<sup>15</sup> `System.Web.Security.Membership.GetUserNameByEmail()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.getusernamebyemail.aspx> を参照してください。

<sup>16</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.DeleteUser()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.deleteuser.aspx> を参照してください。

<sup>17</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.GetNumberOfUsersOnline()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.getnumberofusersonline.aspx> を参照してください。

### 2.4.14 FindUsersByEmail() メソッド

メンバーシップ プロバイダーの `FindUsersByEmail()` メソッドを実装すると、特定の電子メール アドレスを持つユーザーのグループを返すことができ、ユーザーのリスト全体を閲覧するユーザー インターフェースの実装などに利用することができます。<sup>18</sup>

---

<sup>18</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.GetAllUsers()` メソッドの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.getallusers.aspx> を参照してください。

## 2.5 オプションのメンバーシップ プロバイダー プロパティ

次のメンバーシップ プロバイダー プロパティを上書きすると、該当する機能をサポートすることができます。

### 2.5.1 ApplicationName プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの ApplicationName プロパティを上書きすると、メンバーシップ プロバイダーの applicationName 属性を返すことができます。<sup>19</sup>

### 2.5.2 EnablePasswordRetrieval プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの EnablePasswordRetrieval プロパティを実装すると、メンバーシップ プロバイダーでパスワードの取得をサポートするかどうかを指定することができます。<sup>20</sup>

### 2.5.3 EnablePasswordReset プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの EnablePasswordReset プロパティを実装すると、メンバーシップ プロバイダーでパスワードのリセットをサポートするかどうかを指定することができます。<sup>21</sup>

### 2.5.4 RequiresQuestionAndAnswer プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの RequiresQuestionAndAnswer プロパティを実装すると、ユーザーのパスワードをリセットするとき、メンバーシップ プロバイダーでセキュリティ上の質問と回答を要求するかどうかを指定することができます。<sup>22</sup>

---

<sup>19</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.ApplicationName プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.applicationname.aspx> を参照してください。

<sup>20</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.EnablePasswordRetrieval プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.enablepasswordretrieval.aspx> を参照してください。

<sup>21</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.EnablePasswordReset プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.enablepasswordreset.aspx> を参照してください。

<sup>22</sup> System.Web.Security.MembershipProvider.RequiresQuestionAndAnswer プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.requiresquestionandanswer.aspx> を参照してください。

## 2.5.5 MaxInvalidPasswordAttempts プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `MaxInvalidPasswordAttempts` プロパティを実装すると、無効なパスワードの入力を何回試行するとユーザーがロックアウトされるか、その最大回数を指定することができます。<sup>23</sup> ロックされたユーザーはシステムにログインできなくなります。

## 2.5.6 PasswordAttemptWindow プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `PasswordAttemptWindow` プロパティを実装すると、無効なパスワードまたはパスワードの回答を最大回数まで試行するとき、どのくらいの時間が経過するとユーザーがロックアウトされるか、その時間 (分) を指定することができます。<sup>24</sup>

## 2.5.7 RequiresUniqueEmail プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `RequiresUniqueEmail` プロパティを実装すると、認証システムでユーザーごとに一意の電子メールアドレスが必要かどうかを指定することができます。<sup>25</sup>

### ヒント

メンバーシップ プロバイダーの `CreateUser()` メソッドで、`RequiresUniqueEmail` プロパティを `True` に設定すると、`System.Web.Security.GetUserNameByEmail()` メソッドを使用して、指定された電子メールアドレスを持つユーザーが存在するかどうかを確認することができます。

## 2.5.8 PasswordFormat プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `PasswordFormat` プロパティを実装すると、パスワードのストレージ フォーマット (`Clear`、`Encrypted`、`Hashed` など) を示す `System.Web.Security.MembershipPasswordFormat` 値を返すことができます。<sup>26</sup>

---

<sup>23</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.MaxInvalidPasswordAttempts` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.maxinvalidpasswordattempts.aspx> を参照してください。

<sup>24</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.PasswordAttemptWindow` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.passwordattemptwindow.aspx> を参照してください。

<sup>25</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.RequiresUniqueEmail` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.requiresuniqueemail.aspx> を参照してください。

<sup>26</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.PasswordFormat` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.passwordformat.aspx> を参照してください。

### 2.5.9 MinRequiredPasswordLength プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `MinRequiredPasswordLength` プロパティを実装すると、有効なパスワードに必要な最小文字数を返すことができます。<sup>27</sup>

### 2.5.10 MinRequiredNonAlphanumericCharacters プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `MinRequiredNonAlphanumericCharacters` プロパティを実装すると、有効なパスワードに必要な英数字以外の最小文字数を返すことができます。<sup>28</sup>

### 2.5.11 PasswordStrengthRegularExpression プロパティ

メンバーシップ プロバイダーの `PasswordStrengthRegularExpression` プロパティを実装すると、有効なパスワードが一致する必要がある正規表現を指定することができます。<sup>29</sup>

---

<sup>27</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.MinRequiredPasswordLength` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.minrequiredpasswordlength.aspx> を参照してください。

<sup>28</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.MinRequiredNonAlphanumericCharacters` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.minrequirednonalphanumericcharacters.aspx> を参照してください。

<sup>29</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider.PasswordStrengthRegularExpression` プロパティの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.passwordstrengthregularexpression.aspx> を参照してください。

## 2.6 メンバーシップ プロバイダーの設定

このセクションで説明する手順を使用して、ASP.NET メンバーシップ プロバイダーを設定します。<sup>30</sup>

### 2.6.1 すべてのドメインに同じメンバーシップ プロバイダーを使用する方法

すべてのドメインのすべてのユーザーに ASP.NET メンバーシップ プロバイダーを実装する方法:

1. `System.Web.Security.MembershipProvider` クラスと、必要なメソッドを実装します。<sup>31</sup>
2. メンバーシップ プロバイダー クラスを公開する `/configuration/system.web/membership/providers/add` エレメントを `web.config` に追加します。
3. `web.config` の `/configuration/system.web/membership/providers/add` エレメントの `realProviderName` 属性で、`sitecore` という値を含む `name` 属性の値を、`<provider>` エレメントの `name` 属性の値に変更します。

次はその例です:

```
<membership defaultProvider="sitecore">
  <providers>
    <clear />
    <add name="sitecore" realProviderName="namespace" ... />
    <add name="namespace" type="Namespace.Web.Security.NamespaceMembershipProvider"
      applicationName="sitecore" minRequiredPasswordLength="1"
      minRequiredNonalphanumericCharacters="0" requiresQuestionAndAnswer="false"
      requiresUniqueEmail="false" maxInvalidPasswordAttempts="256" />
    ...
  </providers>
</membership>
```

#### メモ

`applicationName` 属性は、`sitecore` の必要があります。

---

<sup>30</sup> メンバーシップ プロバイダーの設定方法の詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/1b9hw62f.aspx> を参照してください。

<sup>31</sup> `System.Web.Security.MembershipProvider` クラスの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.web.security.membershipprovider.aspx> を参照してください。

## 2.6.2 異なるドメインに異なるメンバーシップ プロバイダーを使用する方法

メンバーシップ プロバイダーごとに、複数ドメインのユーザーを管理することができます。デフォルトの Sitecore 設定では、1 つのメンバーシップ プロバイダーが、すべてのドメインのすべてのユーザーを管理します。1 つのメンバーシップ プロバイダーで個々のドメインのすべてのユーザーを管理する必要があり、2 つのメンバーシップ プロバイダーで 1 つのドメインのユーザーを管理することはできません。

メンバーシップ プロバイダーを切り替えるように設定すると、異なるセキュリティ ドメインのユーザーに異なるメンバーシップ プロバイダーを使用することができます。たとえば、コンテンツ デリバリー環境と Sitecore Active Directory メンバーシップでデフォルトのメンバーシップ プロバイダーを使用して、コンテンツ管理 (CM) ユーザーを認証することが可能です。<sup>32</sup> 異なるメンバーシップ プロバイダーを使用すると、異なるセキュリティ ドメインに対して論理サイトごとのユーザーを認証することができます。

Extranet のセキュリティにカスタム プロバイダーを使用し、Sitecore のセキュリティにデフォルト プロバイダーを使用する方法:

1. 「すべてのドメインに同じメンバーシップ プロバイダーを使用する方法」のセクションで説明されている手順に従います。
2. web.config の /configuration/system.web/membership エLEMENTで、defaultProvider 属性を switcher に変更します。
3. web.config の /configuration/sitecore/switchingProviders/membership エLEMENTで、次の <provider> エLEMENTを追加します。ここで、providerName 属性の値は前に作成した <add> エLEMENTの name 属性の値に一致します:

```
<provider providerName="namespace" domains="extranet" storeFullNames="false"
  wildcard="*" />
```

### メモ

web.config の <provider> エLEMENTは、ユーザー マネージャーなどで表示される順序を制御しますが、その他の影響はありません。

---

<sup>32</sup> Sitecore Active Directory プロバイダーの詳細については、<http://sdn.sitecore.net/products/ad.aspx> を参照してください。